

学び舎通信2 一步前へ

尾張旭市立旭中学校
2年学年だより
第11号
平成30年12月14日

未来を見つめてみませんか

私は大学時代、家庭教師のアルバイトをしていました。担当していた教え子は勉強が苦手で、なかなか点数を伸ばせませんでした。彼が本気で勉強と向き合ったとき、希望の高校に合格することができました。

そのきっかけは、ニホンウナギでした。当時、ニホンウナギはどこで産卵して成長するのかわかっていませんでした。熱帯魚が好きで、名前と値段がすらすら口をついて出る彼に、ニホンウナギの生態の話をしたのです。「もし、Aくんが発見したら、大発見じゃないの?」と話したのを覚えています。その話をすると目の色が変わり、真剣な顔つきになりました。

その後、行きたい大学を一緒に探し、その大学に行くためにどんなことを高校で学べばよいのかを一緒に考えました。

みなさんにも「夢はありますか?」と聞いたことがあります。その夢の実現のために何が必要かを考えると、免許・資格がいること、大学・短大を卒業していること、どんな人に向いているかなどといったことがわかってきます。

今回の懇談会を終えた後、一学年上の先輩は封筒を持って歩いていました。その封筒には私立の志望校が書かれた用紙が入っており、願書を受け取って下校していきます。みなさんの一年後の姿でもあります。

しかし、まだその姿を近くに感じている人も多くないようです。12日(水)の総合的な学習の時間に、進路学習を行いました。高校のことを聞いてもまだピンと来ない人も各クラスにたくさんいたと聞いています。

でも、大丈夫です。時間はあります。少しずつ将来について考え始めてみてはどうでしょうか。聞きたいことがあったら、担任の先生に相談してみてください。



1月15日(火)～17日(木) 学年末テスト

1月23日(水)～25日(金) 進路相談

1月28日(月) 私立一般出願

1月29日(火)、31日(木)、2月1日(金) 個人懇談

1月30日(水) 私立推薦入試

3年生の先輩の1月の予定を載せてみました。1、2年生がテストのない1月は、3年生にとってそれぞれの進路に向けて動いていく時期です。多少前後するでしょうが、1年後のみなさんもほぼ同じような日程で進むことになります。

受け取ったメッセージを胸に

私の知り合いの先生に、青年海外協力隊員としてアフリカに行った経験をおもちの先生がいらっしゃいます。彼がアフリカの話をするとき、「アフリカの子どもたちは目の輝きが違う。将来はアフリカに学校を作りたい」と熱っぽく夢を語ります。遠い目をして当時のことを思い出して語るその先生の姿を見ると、きっと充実した時間を過ごされたのだろうと感じました。

今年度の「夢と絆の講演会」は、池間哲郎さんをお招きしました。同じアジアの国々の中には、日本では忘れられた景色が広がっているようです。話していただいたお話の中で、私がとくに印象に残ったのは次の2つです。

- 助けてあげるといふ姿勢でお金を出すだけでは、思いは伝えられない。
- 日本もかつて助けてもらった過去がある。だから、助ける。

みなさんが池間さんから受け取ったメッセージは、ここでは書きません。しかし、どの人も上から下までびっしりとコメントが書けていたと思います。池間さんの伝えたい思いをみなさんが受け取ったのではないのでしょうか。

池間さんの本は、何冊か出版されています。もう少し詳しく知りたいと思うみなさんは、手に取っててください。

池間さんにはかないませんが、私にも小さな志があります。理由は池間さんと同じで、戦後の日本でユニセフからの支援で助けられた恩を、日本人の一人として誰かに返すべきだと考えているからです。

私はノートを送りたいと考えています。私は汚い字を見やすくするためにノートに何度も語句を書いたり、日記帳がわりに思いを綴ったりしました。大学受験の際にもノートを活用しました。自分の努力の形でもありました。

ノートを自分の未来や国のために生かそうとする子どもたちに使ってもらえたらー。そう遠くない日からスタートさせたいと考えています。

大掃除で2018年を締めくくろう

旭中学校の掃除の時間は10分です。今まで勤務してきたどの学校と比べても短めの清掃時間です。この中でどこまでやり切れるのか、いつも考えます。

今年は西昇降口前の花壇と、西側外トイレの清掃監督をしています。銀杏の木は葉っぱを散らし、折り重なって地面に落ちています。冷たい風も吹いています。その中でE組、F組のみなさんと清掃しています。寒い中いつもありがとうございます。落ちた葉っぱを袋につめても取り切れないので、もう少し時間があつたらなといつも思います。

でも、旭中学校には練習試合や学校開放で訪れる方がいらっしゃいます。花壇を見たとき、清掃が行き届いていない学校だと思われてしまったら…きっとその学校のことよく思わないと私は感じるのです。そんなふうには思われたくありません。ですから私は掃除します。

みなさんの清掃箇所で、ゴミが残りちな箇所はありませんか。教室や廊下の縁にも気を配って、清掃してみてください。きれいになったら、きっと心もすっきりすることでしょう。

(文責：水野 千広)

